

総合科学技術会議 重点分野推進戦略専門調査会  
環境研究開発推進プロジェクトチーム 温暖化対策技術調査検討ワーキンググループ  
第7回会合 議事概要

日 時：平成 18 年 3 月 20 日（月）17:00 - 17:45

場 所：合同庁舎 4 号館第 1 特別会議室

出席者（敬称略）：

総合科学技術会議議員 薬師寺泰蔵

WGメンバー 茅陽一、松橋隆治、大下孝裕、太田健一郎、田坂一美（白井芳夫氏の代理）、田井一郎、中村良和（滝谷善行氏の代理）、岩井保夫（立花慶治氏の代理）、筒見憲三、小野透（永広和夫氏の代理）、岩本和明（富士原由夫氏の代理）、松村幾敏、陽捷行、村上周三、村木茂、小川章夫（森田浩氏の代理）、山口耕二、山地憲治

議事：

- （1）温暖化対策技術調査検討WG報告書について
- （2）分野別推進戦略への反映状況について
- （3）その他

議事概要：

議題（1）

資料「温暖化対策技術調査検討ワーキンググループ報告書」及び資料（別添）「温暖化対策技術調査検討ワーキンググループの検討結果について」にもとづき、これまでのWGでの検討の経緯や同報告書の概要等を説明。

議題（2）

事務局より、参考資料に基づいて第3期科学技術基本計画及び分野別推進戦略の概要を説明し、その後資料7-1に基づき本WGの検討結果が分野別推進戦略にどのように反映されたかを説明。その後の質疑応答は以下の通り。

山地：参考資料7-1の中で、戦略重点科学技術について「16%に選択・集中」とあるが、これはどのような意味なのか。

事務局：戦略重点科学技術の予算総額2920億円を、重点推進分野・推進分野の合計予算である1兆7856億円で割った値。

山地：課題数では、重要な研究開発課題が273件、戦略重点科学技術が62件であるが、その前に普通の課題があると思うのだが、それは何件あるのか。

事務局：重要な研究開発課題は、環境分野で57件、エネルギー分野で39件。エネルギー分野では、PTの委員になった専門家にアンケートを実施し、全97の課題から10、20件程度落とし、残りを39の技術群にまとめた。

田井：第3期は第2期に比べてどのような特徴があるのか。

事務局：個々の重要な研究開発課題に対して研究開発目標や成果目標を明確化した。また、さらに戦略重点科学技術を精選し、戦略的重点化を図っている。

議題（3）

最後に、本WGの検討終了に当たって、薬師寺議員からあいさつし、茅主査、松橋副主査をはじめ、本WGメンバー及び作業チームメンバーに感謝の意を述べた。

以上